

# 今月の生涯学習情報

生涯学習センター・湧学館 ☎ 42-2700・公民館 ☎ 42-2203・総合体育館 ☎ 42-2075

11月のカレンダー ■休館日 ★夜間開館日 ●イベント

日	月	火	水	木	金	土
10/26	10/27	10/28★	10/29	10/30	10/31	①
2	③	4	5	6	⑦★	8
9	10	11★	12	13	14★	15
16	17	18★	19	20	⑳★	22
㉓	24	25★	26	27	28	29
30	12/1	12/2★	12/3	12/4	12/5★	12/6

※休館中の本の返却には、正面玄関横の「返却ポスト」をご利用ください。(夜間や早朝にも返却できます)

## 11月の展示

2004~2014 年度別 貸出ランキング!

## 秋の映画上映会

11/3(月) 午後2時から  
「そして父になる」(121分)  
野々宮良多は、産院からの電話で、6歳になる息子が取り違えられた他人の子だと知る。妻みどり、相手方の斎木夫妻は、育てた子を手放すことに苦しむ。良多の意見でついに「交換」が決まるが…。  
出演：福山雅治、尾野真千子ほか

11/23(日) 午後2時から  
「トムとジェリーテイルズ6」(110分)  
仲良くケンカするトムとジェリーの壮大な追いかけっこ。短いお話が15話、お好きなところからどうぞ!

会場：湧学館2階視聴覚室 ◎入場無料◎

## ◆11月のイベント情報◆

- 11/1(土) 昭和ノスタルジアコンサート(湧学館ロビー) 午後2時~
- 11/3(月) 湧学館で遊びリンピック! 午後1時30分~
- 11/3(月) 映画上映「そして父になる」 午後2時~
- 11/7(金)・21(金) 平家物語 読書会(文化教室) 午後7時~午後8時まで
- 11/23(日) 映画上映「トムとジェリーテイルズ6」 午後2時~

**\* 祝日臨時開館のお知らせ \***

11/3(月)文化の日  
11/23(日)勤労感謝の日  
午前10時~午後6時まで

めくるめくる 本の世界  
2014・第68回 読書週間  
10/27~11/9

読書週間を含む、10/25(土)~11/9(日)は 図書を10冊まで貸出します。

企画展  
ファイターズと本を読もう  
11/9(日)まで開催中

体験の風をおこそう  
湧学館で遊びリンピック!

本を使った簡単なゲームを2種目行います。  
3位までに入るとメダルと賞状をプレゼント! 小学生の参加・中学生のお手伝い、お待ちしております♪

日時：11/3(月) 午後1時30分  
会場：湧学館2階文化教室

湧学館のホームページでは、新着本情報などを随時お知らせしています

京極町 湧学館 検索 (http://lib-kyogoku.cubet.com/)

## 読書の秋に一冊、いかがですか?

# 京中生にインタビュー 2014 ハイライト集

今の中学生たちは、どんな本を読んでいるのだろうか? 読書感想文コンクール、京極中学校の入賞者の皆さんにインタビューしました。インタビュー全文は、湧学館で無料でお配りしている「京極読書新聞」でお読みいただけます。また、ここで紹介された本はすべて湧学館で所蔵しています。いつでも読むことができますのでご利用ください。



◆ 笹浪 竜くん (1年)  
「考える野球」 遠藤友彦/著  
野球をやっていると、「体だけじゃなくて頭も使え!」とよく言われます。小学生の時は、その「頭を使う」という意味がよくわからなくて、お兄ちゃんと話している時にこの本を薦められました。

◆ 松本 郁美さん (3年)  
「永遠の〇」 百田尚樹/著  
関係者に祖父・宮部久蔵のことを聞いて行く内に、どんどん「海軍一の臆病者」のイメージが消えて、そうではない真実の宮部久蔵の姿が現れてくる。宮部久蔵が死んだ真相がわかってくるにつれて、「戦争」の真の恐ろしさが現れてくる。題名の「〇(ゼロ)」という言葉がとても印象的です。

◆ 小上 優輝くん (3年)  
「クロス・ファイヤー」 柴田よしき/著

◆ 菊地 笙希くん (2年)  
「永遠の〇」 百田尚樹/著

◆ 東倉 志穂さん (2年)  
「1リットルの涙」 木藤亜也/著

◆ 芳賀 丈くん (2年)  
「旅猫リポート」 有川浩/著  
僕は「旅猫リポート」のナナ(猫)とサトル(人間)の関係が、まるで親子のように描かれているところが好きです。一気に入った登場人物は? ヨシミネですね。あの修学旅行中に、九州の小倉までの脱走を手伝おうとする、親友の。

◆ 西村 元太くん (3年)  
「桐島部活やめるってよ」 朝井リョウ/著

◆ 西村 由布さん (1年)  
「ひめゆりの少女たち」 那須田稔/著

◆ 藤波 愛月さん (1年)  
「ありがとう3組」 乙武洋匡/著

◆ 米山 怜那さん (1年)  
「ウルルの森の物語」 百瀬しのぶ/著  
森へ帰すシーン。お母さんオオカミが姿を現しているのに、ウルルは動こうとしない。迷っているウルルに、昂としづくが涙をこらえてビードロ(ガラス玉)を投げつける。ウルルも変わらなければならぬし、昂やしづくたちそれぞれも変わってゆかなければならないことが胸を打ちます。

◆ 渡辺 夢那さん (3年)  
「マナは海に向かう」 喜多嶋隆/著  
祖父・莊一郎が命をかけて巨大マグロと戦った誇りを守るためにマナの選んだ決断。今度は私があの巨大マグロを仕留めてみせる! をとてもうらやましく思います。「剛毅果敢」という言葉を思い出しました。

◆ 藤村 梨乃さん (2年)  
「私の頭の中の消しゴム」 木村元子/著  
薫はアルツハイマー病が進行して施設に入ることになりました。薫の姿が消え、独りぼっちになった浩介のもとへ、ある日、薫からの手紙が届きます。それは、まだ浩介の記憶が残っている時に書かれた薫の手紙だったのですが、物語は、この妻・薫の手紙を最後にぱつと終わります。大変印象的なラストでした。



◆ 守 花さん (3年)  
「小説カノジョは嘘を愛しすぎてる」 豊田美加/著

◆ 松本 晴也くん (2年)  
「モルフェウスの領域」 海堂尊/著

京極読書新聞 第58号

京極読書新聞 第59号

京極読書新聞 第60号